We Love DT!!

ダイバージョナルセラピー(DT)通信 Vol.18

平成26年から、法人GPでダイバージョナルセラピー（DT）委員会が発足いたしました。このDT通信では、各部署で取り組み情報等を定期に発信しております。

発行日　令和元年 12月
発行元　豊生会グループDT委員会

豊生会グループ

「　日常の生活の中で楽しいを引き出そう　」

すぎの子の家
山川　夕花里

これまでDTはDTWが取り組むもの、と思われていることから他のスタッフへの周知がうまくできず、定着できていないという課題がありました。4月から全スタッフと個別にDTについて資料を作成し説明。話をする中で他のスタッフよりノートを作って周知していくのはどうかと提案があり、DTノートをスタートさせました。

内容としては行ったDTとその反応を記入していくというシンプルなものです。事前にこういうことがDTですよと説明したこともあって始めやすかったとの話や、DTWがコメントすることで、自分でも工夫して考えるようなったとの意見も。

9月にはDTW以外も取り組みについてコメントしていき、以前よりも楽しみを考えたり、ノートに書き込むことで対応が「見える化」しているなどの意見が出ました。DTWから見ても少しでも楽しい時間を過ごすにはどうしたらよいか、より考えるようになった（個人のニーズの明確化）と実感できるようになりました。

このまま定着し、継続するためにはどのような改善が必要か芹沢先生に相談すると、ノート自体、とてもよい取り組みでわかりやすく「見える化」している。変えるとするなら良かった取り組みと、良い反応はなかったも工夫することで今後良い反応が期待されるものと分けて記入してはどうかと提案がありました。

どう工夫するべきかみんなで考えることができるので、参考にしてノートを継続していきたいと思います。

取り組み報告の後は、アクティビティに参加して頂きました。毎日行っているアクティビティを通して楽しいを引き出す関わりを意識しています。いつも見慣れない人がいると落ち着かない入居者の方が、芹沢先生がいても穏やかに参加していました。宝くじの日と伝えると、「お金欲しいから、買ったよ!」と昔の思い出話も。歌にボディパーカッションを取り入れたらどうだろうなどの、アドバイスを頂きました。

今後も相談したことを参考に、一人ひとりがより楽しく過ごせるように活動していきます。

「　収穫の秋　美味しく食べましょう　」

CoCo 東苗穂
山田　智恵子

今回初めて芹沢先生の協力を得てDTを行いました。秋を題材にバベキューコンロにてさんまを焼き美味しく食べようと考えました。

当日参加された方は6名でさんまを触りご自分でさんまに塩を振って頂きましたが男性陣は塩を上からかけ、女性の方は塩を横からかけ全体にかかるようにされていました。コンロの中にもサツマイモを入れこんがりと焼くことが出来ました。この日は風もありましたがコンロの熱とさんまの焼ける音･香りが漂い道路を歩かれている方からも「おいしそう」の声が聞こえていました。さんまが焼けてくると男性がトングを持ち火のそばに来てさんまを返して下さりました、この方は何もされない方と聞いておりましたが、何か役割があると体を動かして下さるのだと分かりました。焼けたさんまとサツマイモを少しづつですが参加された方々に外で味見をして頂きました。

次は、住宅に戻るとさんま･大根おろしの香りが充満していました。2階の食堂に集まり焼けたさんまを昼食のおかずとして提供しました、皆様は、手でさんまを押さえつつ箸できれいに食べて頂きました、さんまに手を付けていなかった方にも声を掛けるときれいに食べて頂くことが出来ました。この度はさんまの骨をどうするのか･内臓は取るのかを考えさせられました実際に提供したらご自分で骨を取ったりそのまま頭からかぶりついた方々皆さん自由に食べ満足された表情で食事が終了していたので安心しました。普段の行動とは違い入居者様の変化を見い出さたことは良かったと思い次に繋げていきたいと思います。

次回はもっと個人個人を見れる状況でのDTを行っていきたいと思います。

「　短い秋を五感で感じて、楽しんで。　」

ひまわり健康倶楽部
坂口　裕美

ひまわり健康倶楽部では、『秋のプログラム』としてセッションを実施しました。まず、初めに子供の頃を思い出しながらどんぐり拾いをレクリェーションにしてみました。

本物の落ち葉や、栗、どんぐり、クルミを用意してテーブルに広げ、時間を決めてどんぐりだけを見つけ出します。皆さん、一生懸命落ち葉をめくり探していました。

次は、芹澤先生と利用者様七人とひとり一人挨拶が始まり、皆さん緊張した面持ちでしたが会話が進むにつれて、お互いの色々な事を知る事が出来ました。秋の歌を全員で歌ったり、ボディパーカッションで盛り上がったりしました。

最後は、かぼちゃのスィーツで秋の味覚を味わってもらいました。後日、他の利用者様から、「焼き芋して食べたい」と言う話もあり、今後DTとしてのアプローチや利用者様の声を大切にしていきたいと思いました。

「　秋の味覚　」

デイサービスセンターサンシャイン
福井　秀樹

10月28日は芹沢先生が来所され、秋の味覚満載の豚汁を一緒に作りました。

まずは朝のあいさつで先生を紹介するとボクシンググローブを持参され、「これは体幹トレーニングに効果があるんですよ」と利用者様何名かと遊びながらトレーニングをされていました。

さて調理の時間になると皆さんエプロンをされ、包丁を使って野菜を切る方、おにぎりを握る方、ナムルを混ぜる方とそれぞれ役割に分かれ、手伝ってくれます。

流石昔取った杵柄!　やはり皆さんプロの主婦だったのでさまになっています。下ごしらえなど慣れたもの。順調に調理が進み実食です。丁度寒くなった頃だったので豚汁も好評で、余すのではと思っていた量も皆さんペロリ!笑顔がこぼれます。

季節感を取り入れた、利用者様のお手伝いを取り入れたDT。中には男性の方が調理ができず個別ケアができなかったなど問題もありましたが、今後も何らかの形でDTを取り入れていければと感じた秋の一日でした。